

株主の皆様へ

# 第121期 第2四半期のご報告

平成21年3月1日から平成21年8月31日まで



東宝株式会社

証券コード：9602





## ト ッ プ メ ッ セ ー ジ

代表取締役社長

高井 英幸

取締役  
映像本部映像事業担当  
兼映像事業部長

新坂 純一

ブルーレイディスク市場へ本格参入する  
映像事業の中長期的なテーマについて、  
高井社長並びに新坂取締役がご説明します。



### >>映像事業部門の役割とは？

**高井** ひとことというと“映画フィルム以外の商品売る”のが映像事業部門です。創業時から劇場用パンフレットを扱い、ビデオの時代からは東宝の配給映画を二次利用する幅広い商品化ビジネスにかかわってきました。

**新坂** 現在の主要な業務はビデオソフトの製作・販売、映像ソフトの企画・制作、著作権ビジネス、劇場用パンフレットの出版・販売、キャラクター商品の企画・販売などです。さまざまなジャンルで“映画のマルチユース”が可能となる時代となり、映画から発生する収益を最大化するための重要ビジネスとして映像事業に取り組んでいます。

### >>柱である東宝配給作品のDVDリリース

**高井** パッケージソフトは、ビデオテープ、LD（レーザー・ディスク）を経て、DVDの時代になったわけですが、この10年で、すでに過去の大作、名作はほぼ出揃ってしまい、目下は新作頼みになっています。これはどこの会社も同じで、結果、新

## 新しいメディアの登場と映像

作の販売権の取り合いになっています。東宝配給作品のDVD権取得でも他社との厳しい獲得競争が生じます。

**新坂** 映画興行収入が横ばいで推移する一方、ビデオやパンフレットによる業界全体での売上高は厳しい状況にあり、映像事業ではより厳格な利益管理が求められます。当部門は映画興行収入とビデオ収入等を綿密に試算した収益計画のもとDVD権を獲得しています。年内以降には東宝配給作品「クローズZERO II」「ROOKIES—卒業—」「20世紀少年＜最終章＞ぼくらの旗」（以上レンタル）などの大ヒット作をリリース予定です。一方で洋画作品は「ホルテンさんのはじめての冒険」「扉をたたく人」「人生に乾杯！」（以上レンタル・セル）など公開時に評価が高い良質なインディペンデント系作品を多くの方にご紹介すべくDVD化に力を入れています。

### >>映画以外のジャンルからコンテンツを充実

**新坂** 映画興行と同様にDVDも必ず“あたりはずれ”があるビジネスです。東宝のDVDは格闘技、スポーツ、お笑い、ショー

トアニメなど非常にバラエティに富んだラインナップが大きな特徴ですが、こうした確実に一定のファン層を獲得できる映画以外のコンテンツの充実も、DVDビジネスにおける安定的な収益拡大に貢献しています。東宝は映像の創り手や全国のビデオ店等とのネットワークで、企画から営業までを一貫して、映画以外のジャンルを今後も推進します。

### >>業界を牽引するブルーレイディスク市場への取り組み

**高井** ブルーレイディスク（BD）はDVDの6倍の容量があります。この特長を十分に使いこなし、音も画質もDVDと差別化できる、ユーザーにご満足いただくものでなければ東宝がBDをリリースする意义がありません。2011年の地上デジタル放送移行により高画質が当たり前となるだけに、当社も周知な準備を重ね、自信を持ってご提供できる質にたどり着いたことで、いよいよ本年秋から戦略的にBDをリリースします。

**新坂** 映画のパッケージビジネスではDVDに至るまで技術の進歩とともに新しいメディアが開発され、ハードとソフトが両輪で進化することでユーザーに浸透してきました。ビデオ市場に占めるBD売上は平成20年末の3.4%から平成21年8月末現在7.3%へと確実に上がり、購入しやすい低価格BDプレー

## 配信技術の進化に対応し、ビジネスチャンス拡大します。

ヤーも出始めました。こうしたなか、当社は本年秋より東宝が誇る2大コンテンツ「東宝特撮Blu-rayセレクション」として「ゴジラ」など怪獣映画5作品と、「黒澤明監督作品 AKIRA KUROSAWA THE MASTERWORKS Blu-ray Disc Collection」として「七人の侍」「影武者」など7作品一をリリースいたします。東宝グループの東京現像所の最新デジタル技術とこだわりによる高画質映像は既に上記作品を所有する方々にもぜひご覧いただきたい自信作です。日本映画の財産ともいえる作品群をまとめて発売することでお客様への訴求力を高め、BD市場を活性化する牽引役となることを大いに期待しています。

### >>TOHOシネマズとの連携による新たな可能性

**新坂** 映像事業部が新たに取り組むのがODS（Other Digital Stuff:映画以外のデジタルコンテンツ）の配給業務です。他社に先駆けてデジタルシネマ配信ネットワークを備えるTOHOシネマズのスクリーンで舞台中継、スポーツイベント、音楽ラ

イブ、お笑いイベントなどを全国に同時上映していきます。お客様に映画館の新たな魅力を発見いただき、TOHOシネマズの稼働率を高める、さらに映像事業部としてはDVD・BDにふさわしいコンテンツのパッケージ化にも前向きに取り組んでまいります。

**高井** かつての映画館と異なり、10スクリーン前後を有するシネマコンプレックス（シネコン）では作品による差別化が困難です。各社独自の特色が今後のテーマとなるなか、シネコンの“マルチユース”、映画以外の使い道を追求することは、差別化戦略の一つであり、地域の皆様に喜ばれるシネコンづくりは社会貢献にもつながります。特にライブの全国同時中継は米国など広大な国では難しく、日本ならではの、全国に興行網を有する東宝ならではのビジネスともいえますね。

### >>株主の皆様へ

**新坂** 営業や販売促進を含む当部門の業務全般を見直し、さらに原価率や間接費の削減に努めるなど、攻めと守りの両面で自らが主体的に変化し、時代と環境変化に機敏に対応してまいります。

メディアの進化は映画を家庭でいつでも見るという映画ファンの夢を現実のものとししました。平成20年度は映画館への

入場者数が約1億6,000万人に対してビデオによる鑑賞人口は約7億人と推定されます。映画は人間が発明した素晴らしいエンタテインメントの一つであり、また日本の文化を広く海外に伝え、後世に継承する重要な媒体です。これからも映画をお客様の身近な存在として多くの方に普及することが、私たち映像事業部の役割、喜びと誇りであり、東宝の社会的貢献の一つでもあります。

**高井** 昨年からの経済状況下、当第2四半期において当社は健闘し、まずまずの業績となりました。一方で映画興行収入での業界シェアや実績を踏まえると、東宝グループの映像事業にはまだまだ挑戦する余地があります。映画事業の好調が続くなか、新たなBD市場が拡大する局面を迎え、戦略的かつ積極的にビジネスチャンスを拡大し、東宝グループの成長につなげてまいります。



営業の概況

当上半期における我が国経済は、世界同時不況の影響による、過去にない急速な景気悪化から一部持ち直しの動きが出てまいりましたものの、企業の設備投資は抑制傾向が続き、雇用不安により個人消費も低迷したまま、依然厳しい状況で推移いたしました。

映画界におきましては、上半期は邦画・洋画ともにほぼ前年なみの興行収入を記録しており、堅調な展開となっております。

このような情勢下にあって当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、主力の映画事業のうち映画興行事業部門が健闘し、同じく映画営業事業部門において、前年ほどのメガヒット作品には恵まれなかったものの配給作品が概ね順調に稼働し、不動産事業の道路事業部門も堅調に推移いたしました。一方、映画事業の映像事業部門、演劇事業は伸び悩みました。この結果営業収入は1,057億2千1百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は116億7千3百万円（前年同期比20.6%減）、経常利益は123億5千9百万円（前年同期比26.0%減）、純利益は56億3千万円（前年同期比3.5%減）となりました。

以下各事業部門別にご報告申し上げます。

■ **映画事業**（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業は、東宝(株)において「ジェネラル・ルージュの凱旋」「クローズZEROⅡ」「名探偵コナン 漆黒の追跡者」「余命1ヶ月の花嫁」「ROOKIES―卒業―」「ハゲタカ」「真夏のオリオン」「ごくせん THE MOVIE」「アマルフィ 女神の報酬」「20世紀少年＜最終章＞ぼくらの旗」

を共同製作、配給したほか、(株)東宝映画において「ハゲタカ」を製作いたしました。また東宝(株)において前記作品のほか、「映画ドラえもん 新・のび太の宇宙開拓史」「クレヨンしんちゃん オタケベ！カスカベ野生王国」「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド・パール アルセウス 超克の時空へ」「劇場版NARUTO―ナルト―疾風伝 火の意志を継ぐ者」等のヒット作を含む計16本を、東宝東和(株)において「レッドクリフPartⅡ―未来への最終決戦―」等8本を配給いたしました。その結果映画営業事業収入は242億円（前年同期比6.7%減）となりました。

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心にグループ各興行会社において前記各作品のほかに、「天使と悪魔」「ハリー・ポッターと謎のプリンス」「ヤッターマン」「ターミネーター4」「劔岳 点の記」「ドロップ」「スラムドッグ\$ミリオネア」等、邦洋画の話題作を上映いたしました結果、映画興行事業収入は340億2千2百万円（前年同期比3.7%増）となりました。また、当社グループの当第2四半期連結累計期間の劇場異動は表1のとおりとなり、興行マーケットの再構築を進展させました。新規オープンした劇場は順調に稼働、当社グループのスクリーン数は5スクリーン増の合計583スクリーン（共同経営44を含む）となり、東宝系興行網の拡充を図りました。さらに前期から引き続き各劇場への新興行管理チケット販売システムの導入を進めるとともに、3Dデジタルシネマ及びサッカー中継や宝塚歌劇団の公演をリアルタイムに楽しめるオンライン・デジタル・ソース（ODS）による顧客獲得のため、デジタルシネマ機器の導入を加速しております。

| 表1. 当第2四半期連結累計期間中の劇場異動 |                 |        |        |             |               |
|------------------------|-----------------|--------|--------|-------------|---------------|
| 月日                     | 劇場名             | スクリーン数 | 場所     | 経営主体        | 異動内容          |
| 3月31日                  | 東宝公衆            | △1     | 京都市    | (株)公衆会館     | 閉館            |
| 4月16日                  | 甲宝シネマ           | △4     | 山梨県甲府市 | 関西共栄興行(株)   | 事業譲渡（経営は地元企業） |
| 7月23日                  | TOHOシネマズららばーと磐田 | 10     | 静岡県磐田市 | TOHOシネマズ(株) | オープン          |

| 表2. 東宝(株)において期中に提供した主なビデオ作品     |                 |             |
|---------------------------------|-----------------|-------------|
| 作品・商品名                          | レンタル用DVD（リリース日） | 販売用DVD（発売日） |
| パコと魔法の絵本                        | 3月6日            |             |
| 1408号室（※レンタル用及び販売用ブルーレイディスクも発売） | 3月20日           | 3月20日       |
| 子連れ狼 DVD-BOX 冥府魔道の巻             |                 | 3月20日       |
| イキガミ                            | 4月10日           | 4月24日       |
| ホームレス中学生                        | 4月24日           | 4月24日       |
| 放浪記 DVD-BOX                     |                 | 4月24日       |
| ハッピーフライト（※販売用ブルーレイディスクも発売）      | 5月22日           | 5月22日       |
| 秋深き                             | 5月22日           | 5月22日       |
| 劇場版 MAJOR 友情の一球                 | 6月12日           |             |
| ピューと吹く！ジャガー いま、吹きにゆきます          | 6月12日           | 6月26日       |
| ツール・ド・フランス1999-2005             |                 | 7月8日        |
| 感染列島（※販売用ブルーレイディスクも発売）          | 7月10日           | 7月24日       |
| ホルテンさんのはじめての冒険                  | 7月10日           | 7月24日       |
| ときめきトゥナイト DVD-BOX               |                 | 7月24日       |
| 20世紀少年 一第2章―最後の希望               | 8月7日            |             |
| 映画ドラえもん 新・のび太の宇宙開拓史             | 8月7日            |             |
| 湯けむりスナイパー DVD-BOX               | 8月7日            | 8月21日       |
| 街道てくてく旅 四国八十八か所を行く DVD-BOX      |                 | 8月21日       |
| 伝染るんです。 第1巻                     |                 | 8月21日       |

映像事業のうち映像制作事業では、東宝(株)においてテレビ放送用2時間ドラマ「サマヨイザクラ」等2本を制作し、また劇場用映画「ROOKIES―卒業―」を製作いたしました。ビデオ事業は、東宝(株)において表2のとおり提供を行いました。

出版・商品事業は、「ROOKIES―卒業―」「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド・パール アルセウス 超克の時空へ」をはじめとする東宝(株)配給作品、洋画では「レッドクリフPartⅡ―未来への最終決戦―」等が順調に稼働いたしました。版權事業は、「東宝怪獣キャラクター」等の商品化権収入に加え、各種配分金がありました。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、東宝アド(株)等各社では、景気悪化の影響により映画・演劇等の美術、イベントその他の事業が軒並み受注減となり、映像事業収入は108億6千8百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

以上の結果、映画事業収入は690億9千1百万円（前年同期比4.7%減）となりました。



■ 「ハゲタカ」  
©2009映画「ハゲタカ」製作委員会



■ 「ごくせん THE MOVIE」  
©2009「ごくせん THE MOVIE」製作委員会



■ 「レッドクリフPartⅡ―未来への最終決戦―」  
©2009, Three Kingdoms, Limited. All rights reserved



■ TOHOシネマズららばーと磐田



■ 2時間ドラマ「サマヨイザクラ」



■ DVD「ハッピーフライト」  
ビジネスクラス・エディション  
©2008 FUJITELEVISION/ALTAMIRA PICTURES/TOHO/DENTSU

## ■ 演劇事業

演劇事業では、東宝(株)は帝国劇場におきまして、2000年の初演から全席完売の記録を更新している「Endless SHOCK」、前人未到の上演2,017回の記録を達成し主演の森光子が国民栄誉賞に輝いた「放浪記」が大ヒットとなりました。またシアタークリエにて上演いたしました「ニュー・ブレイン」「この森で、天使はバスを降りた」の2作品は、それぞれ日本初演となる新作ミュージカルで、高い舞台成果の公演となりました。日生劇場においては5月に、世界初演となったミュージカル「シラノ」が好成績を記録いたしました。さらに東宝オリジナルミュージカル「マリー・アントワネット」のドイツ公演も実現したほか、全国へと展開を続けている社外公演などが事業収益に大きな寄与をいたしました。また東宝芸能(株)では、経済不況の影響によるテレビドラマ、CMの製作本数の減少等の結果、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、演劇事業収入は55億3千4百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

## ■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では、東宝(株)の不動産経営部門において、本年4月にアビティ成城（社員寮・賃貸住宅）が竣工し、業績に寄与いたしました。同社東宝スタジオでは、引き続き積極的な営業を展開し、ステージレンタルでは景気減退の影響でCMの本数が減少したものの、「ゼロの焦点」「ノルウェイの森」「のだめカンタービレ 最終楽章 前編」等、東宝(株)配給作品を中心に20本近くの映画を誘致でき、CM関連の収入減を補いました。また東宝不動産(株)でも、収益性・将来性に優れた新規賃貸物件の取得に努めるととも

に、ビル諸設備等の改修・改善、テナントへのきめ細かな対応を図るなど、積極的な営業活動を行いました。萬活土地起業(株)においては、7月に東宝アルパビル（リッチモンドホテル鹿児島天文館）がオープンしております。さらに、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社も営業努力を続けましたが、不動産賃貸事業収入は140億7千3百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

道路事業では、スバル興業(株)とその連結子会社が、国及び地方自治体の公共事業費の引き締めによる市場規模の縮小と、熾烈な価格競争など依然として厳しい事業環境下で推移いたしました。こうしたなか、積極的な事業運営を行ったマリーナ事業が順調に稼働し業績に寄与し、道路事業収入は98億9千9百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理(株)、(株)東宝サービスセンターにおいて景気低迷の影響により受注の減少を余儀なくされ、熾烈な価格競争の続く厳しい経営環境のもと、不動産保守・管理事業収入は52億7千4百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

以上の結果、不動産事業収入は292億4千7百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

## ■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業は、東宝共栄企業(株)、(株)東宝エンタープライズ等において景気後退による個人消費の減退傾向が影響し、その他事業収入は18億4千7百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

## 通期の見通し

今後の我が国経済は、悪化する雇用環境、冷え込んだままの設備投資、海外景気の下振れなどが不安材料となり、景気の先行きは不透明なまま明暗が相半ばしております。

映画界におきましては、不安定な経済情勢に加え、新型インフルエンザの本格的流行などのリスクが懸念されますが、興行環境における安全衛生管理を徹底するとともに引き続きお客様のニーズに最大限に応えるべく、クオリティーの高いコンテンツの充実を図っていくことにより対処してまいります。

そのようななか、当社グループの通期における業績見通しは、営業収入1,990億円（前期比6.8%減）、営業利益180億円（前期比22.6%減）、経常利益193億円（前期比25.1%減）、当期純利益は81億円（前期比253.0%増）をそれぞれ予想いたしております。

以下各事業部門別の見通し（8月末現在）をご説明申し上げます。

## ■ 映画事業（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業は、東宝(株)において「BALLAD 名もなき恋のうた」「劇場版デュエル・マスターズ 黒月の神帝 ルナティック・ゴッド・サーガ」「劇場版ペンギンの問題 幸せの青い鳥でごベンなさい」「カイジ～人生逆転ゲーム～」

「沈まぬ太陽」「僕の初恋をキミに捧ぐ」「ゼロの焦点」「なくもんか」「曲がれ!スプーン」「宇宙戦艦ヤマト 復活篇」「のだめカンタービレ 最終楽章 前編」「ウルルの森の物語」「映画 レイトン教授と永遠の歌姫」「BANDAGE」「ゴールデンランバー」「LIAR GAME The Final Stage」「食堂かたつむり」を共同製作、配給するほか、(株)東宝映画において「ゼロの焦点」「僕の初恋をキミに捧ぐ」を製作いたします。また前記作品のほか、配給受託作品として「キラー・ヴァージンロード」「ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ」を配給し、東宝東和(株)において「パブリック・エネミーズ」等6本の配給を予定しております。これらにより、映画営業事業収入は418億円（前期比12.6%減）を見込んでおります。

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心にグループ各興行会社において、前記配給作品に加え、アカデミー賞監督ジェームズ・キャメロンが「タイタニック」以来12年ぶりに放つ製作費2億ドルのSF超大作（3Dデジタルシネマ）「アバター」をはじめ、「カールじいさんの空飛ぶ家」「2012」「私の中のあなた」等の大作・話題作を上映する予定です。これらにより、映画興行事業収入は605億円（前期比2.4%増）を見込んでおります。一方、当社グループの下半期中の劇場異動予定はございませんので、当期末スクリーン数は当第2四半期連結累計期間末と同数の合計583スクリーン（共同経営44を含む）となります。



■ 帝国劇場「放浪記」



■ シアタークリエ  
「この森で、天使はバスを降りた」



■ 萬活土地起業(株) 東宝アルパビル



■ 「ゼロの焦点」  
©2009 「ゼロの焦点」製作委員会



■ 「のだめカンタービレ 最終楽章 前編」  
©2009 フジテレビ・講談社・アミューズ・東宝・FNS27社



■ 「アバター」  
©2009 TWENTIETH CENTURY FOX

映像事業のうち映像制作事業では、東宝(株)において2時間ドラマ「棟居刑事の黙示録(仮)」他のテレビ番組を制作し、また劇場用映画「食堂かたつむり」を製作します。ビデオ事業は、レンタル及びセル用DVD作品として「チョコレート・ファイター」「トーマスをすくえ!!ミステリーマウンテン」「扉をたたく人」「アルマズ・プロジェクト」「ハゲタカ」等を提供し、他にレンタル用DVD作品として「ジェネラル・ルージュの凱旋」「クローズZEROⅡ」「名探偵コナン 漆黒の追跡者<sup>チェイサー</sup>」「余命1ヶ月の花嫁」「ROOKIES－卒業－」「20世紀少年＜最終章＞ぼくらの旗」等、バラエティに富んだ作品群を提供いたします。またセル用ブルーレイディスク作品として9月よりゴジラをはじめとする東宝特撮作品を、また黒澤明監督21作品を中長期的にリリースし、マーケットの発展、活性化に努めてまいります。出版・商品事業は、「劇場版デュエル・マスターズ 黒月の神帝 ルナティック・ゴッド・サーガ」「劇場版ペンギンの問題 幸せの青い鳥でごペンなさい」「のだめカンタービレ 最終楽章 前編」「アバター」「カールじいさんの空飛ぶ家」に加え、「東宝カレンダー」を中心に展開いたします。版權事業は、ゴジラをはじめとする「東宝怪獣キャラクター」等による商品化権ビジネスに注力し、版權事業の拡大を目指します。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、東宝アド(株)等各社で、コスト削減等の営業努力を続けながら各種事業のさらなる受注を得るよう図ってまいります。景気悪化の

影響は当面続くと思われ、映像事業収入は238億円（前期比10.8%減）を見込んでおります。

以上の結果、映画事業収入は1,261億円（前期比5.6%減）を見込んでおります。

## ■ 演劇事業

演劇事業では、東宝(株)において、帝国劇場9月はKAT-TUN・亀梨和也ら出演「DREAM BOYS」、10・11月はミュージカル「レ・ミゼラブル」、12月は「レ・ミゼラブル」を手掛けた脚本・音楽家コンビの新作ミュージカル「パイレーツ・クィーン」、明年1月は森光子・滝沢秀明出演「新春 人生革命」／滝沢秀明出演「新春 滝沢革命」、2月はジャニーズ公演を予定しております。またシアタークリエでは、9月はロンドンで初演以来26年間今なおロングランしているミュージカル「ブラッド・ブラザーズ」、10月は東宝S F映画不朽の名作の舞台化「ガス人間第1号」、11月は太竹しのぶ・草笛光子出演、一昨年のトニー賞3部門受賞作、宮本亜門演出「グレイ・ガーデンズ」、12・1月はHey! Say! JUMP・藪宏太ら出演のミュージカル「シー・ラヴズ・ミー」、2月は一昨年のオリヴィエ賞受賞作「THE39STEPS」の上演です。日生劇場では10月に市村正親、鳳蘭の豪華共演が実現したミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」、12月はフランス・ミュージカル映画の傑作の舞台版「シェルブールの雨傘」、明年2月は

ジャニーズ公演を予定しております。社外公演では「細雪」「DREAM BOYS」「パイレーツ・クィーン」などを上演し、東宝演劇公演を積極的に全国へと展開いたします。また東宝芸能(株)では所属俳優の稼働状況等、引き続き厳しい状況が見込まれます。

これらの結果、演劇事業収入は127億円（前期比20.3%減）を見込んでおります。

## ■ 不動産事業 (不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業)

不動産賃貸事業では、東宝(株)の不動産経営部門において、全国に所有する土地・建物等の検証を行い、長期的な視野で改修や新規開発を順次実施してまいります。同社の東宝スタジオは、当期に関しては景気減退の影響で全般的にCM関連収入の伸び悩みが見込まれますが、映画業界の製作意欲は引続き旺盛で、その需要を取り込み製作現場の期待に添えてまいります。第2次スタジオ改造計画についても新ポストプロダクションセンター、新5・6ステージの新築計画が予定どおり進行中です。また東宝不動産(株)においては、立地・環境・収益性等に優れた新規賃貸物件の取得に努めるとともに積極的な営業活動により業績の向上を図ります。三和興行(株)においては、建設中の新宿三丁目東宝ビル（商業施設「レインボービレッジ」）が11月に開業を予定いたしております。さらに、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社においても営業努力を続けて

まいります。不動産賃貸事業収入は282億円（前期比6.8%減）を見込んでおります。

道路事業では、スバル興業(株)とその連結子会社において、国や地方自治体による公共事業の縮減、同業者間の価格競争の激化等、一段と厳しい経営環境が続くものと予想されます。この結果、道路事業収入は182億円（前期比0.2%減）を見込んでおります。

不動産保守・管理事業では、東宝ビル管理(株)及び(株)東宝サービスセンターにおいて、景気低迷の影響下、コスト削減を図るとともに新規や臨時業務の受注拡大を目指して営業努力を重ねてまいります。不動産保守・管理事業収入は103億円（前期比10.8%減）を見込んでおります。

以上の結果、不動産事業収入は567億円（前期比5.6%減）を見込んでおります。

## ■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業は、東宝共栄企業(株)、(株)東宝エンタープライズ等において、積極的に新規顧客獲得に取り組んでまいります。長引く個人消費低迷の影響により、その他事業収入は35億円（前期比11.2%減）を見込んでおります。

(注：本報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切捨てております。)



■ DVD「余命1ヶ月の花嫁」  
©"April Bride" Project



■ 劇場用パンフレット「ROOKIES－卒業－」  
©STUDIO HITMAN/映画「ROOKIES」製作委員会



■ ミュージカル「パイレーツ・クィーン」



■ シアタークリエ  
「グレイ・ガーデンズ」



■ 東宝スタジオ 新5・6ステージ



■ 三和興行(株) 新宿三丁目東宝ビル  
「レインボービレッジ」

四半期連結貸借対照表

| 科目          | 当第2四半期連結会計期間末    | 前連結会計年度末         |
|-------------|------------------|------------------|
|             | 平成21年8月31日<br>現在 | 平成21年2月28日<br>現在 |
| 資産の部        |                  |                  |
| 流動資産        | 73,720           | 53,657           |
| 現金及び預金      | 11,671           | 10,057           |
| 受取手形及び売掛金   | 16,337           | 17,459           |
| 有価証券        | 4,984            | 2,442            |
| たな卸資産       | 7,542            | 7,872            |
| その他         | 33,313           | 15,973           |
| 貸倒引当金       | △130             | △148             |
| 固定資産        | 256,256          | 255,071          |
| 有形固定資産      | 157,142          | 164,530          |
| 建物及び構築物（純額） | 93,285           | 102,923          |
| 土地          | 55,346           | 54,455           |
| 建設仮勘定       | 2,748            | 2,451            |
| その他（純額）     | 5,762            | 4,699            |
| 無形固定資産      | 9,173            | 8,899            |
| のれん         | 6,359            | 6,599            |
| その他         | 2,813            | 2,300            |
| 投資その他の資産    | 89,940           | 81,641           |
| 投資有価証券      | 63,309           | 53,670           |
| その他         | 27,906           | 28,918           |
| 貸倒引当金       | △1,275           | △947             |
| 資産合計        | 329,977          | 308,728          |

1 投資有価証券

前期末に対し9,639百万円増加しておりますが、主に株式相場の回復に伴う保有株式の評価差額の増加によるものです。

(単位：百万円)

| 科目            | 当第2四半期連結会計期間末    | 前連結会計年度末         |
|---------------|------------------|------------------|
|               | 平成21年8月31日<br>現在 | 平成21年2月28日<br>現在 |
| 負債の部          |                  |                  |
| 流動負債          | 43,832           | 37,685           |
| 買掛金           | 14,976           | 10,544           |
| 短期借入金         | 120              | 93               |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 590              | 795              |
| 未払法人税等        | 3,598            | 2,389            |
| 賞与引当金         | 956              | 889              |
| 役員賞与引当金       | —                | 6                |
| その他の引当金       | 34               | 34               |
| その他           | 23,555           | 22,932           |
| 固定負債          | 55,103           | 51,241           |
| 社債            | 10,000           | 10,000           |
| 長期借入金         | 1,279            | 959              |
| 退職給付引当金       | 4,892            | 5,079            |
| 役員退職慰労引当金     | 379              | 466              |
| その他の引当金       | 51               | 52               |
| その他           | 38,499           | 34,682           |
| 負債合計          | 98,936           | 88,926           |
| 純資産の部         |                  |                  |
| 株主資本          | 197,139          | 194,088          |
| 資本金           | 10,355           | 10,355           |
| 資本剰余金         | 13,836           | 13,904           |
| 利益剰余金         | 174,137          | 171,332          |
| 自己株式          | △1,190           | △1,504           |
| 評価・換算差額等      | 12,716           | 4,289            |
| 其他有価証券評価差額金   | 11,825           | 3,398            |
| 土地再評価差額金      | 891              | 891              |
| 少数株主持分        | 21,184           | 21,424           |
| 純資産合計         | 231,041          | 219,802          |
| 負債純資産合計       | 329,977          | 308,728          |

四半期連結損益計算書

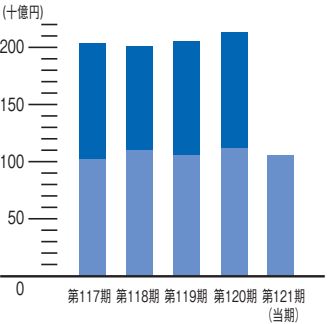
(単位：百万円)

| 科目           | 当第2四半期連結累計期間                |
|--------------|-----------------------------|
|              | 平成21年3月1日から<br>平成21年8月31日まで |
| 営業収入         | 105,721                     |
| 営業原価         | 63,519                      |
| 売上総利益        | 42,201                      |
| 販売費及び一般管理費   | 30,528                      |
| 営業利益         | 11,673                      |
| 営業外収益        |                             |
| 受取利息         | 48                          |
| 受取配当金        | 622                         |
| 持分法による投資利益   | 70                          |
| その他          | 93                          |
| 営業外収益合計      | 834                         |
| 営業外費用        |                             |
| 支払利息         | 87                          |
| 有価証券売却損      | 24                          |
| その他          | 35                          |
| 営業外費用合計      | 148                         |
| 経常利益         | 12,359                      |
| 特別利益         |                             |
| 固定資産売却益      | 223                         |
| 保険解約返戻金      | 161                         |
| その他          | 159                         |
| 特別利益合計       | 543                         |
| 特別損失         |                             |
| 減損損失         | 113                         |
| 固定資産除却損      | 114                         |
| 固定資産取壊費用     | 577                         |
| 投資有価証券評価損    | 220                         |
| 立退補償金        | 1,052                       |
| その他          | 146                         |
| 特別損失合計       | 2,225                       |
| 税金等調整前四半期純利益 | 10,677                      |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,337                       |
| 法人税等調整額      | 175                         |
| 法人税等合計       | 4,513                       |
| 少数株主利益       | 533                         |
| 四半期純利益       | 5,630                       |

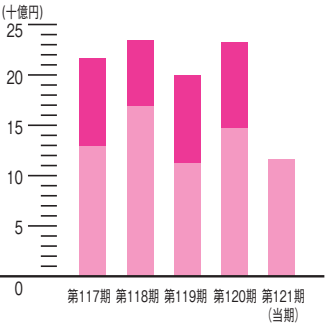
2 販売費及び一般管理費

主な内訳は、人件費9,339百万円、広告宣伝費6,214百万円、賞与引当金繰入額684百万円、役員退職慰労引当金繰入額51百万円、借地借家料3,928百万円、その他10,310百万円となります。

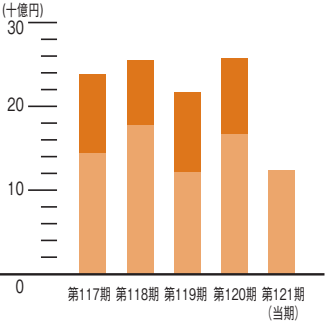
●営業収入  
■第2四半期連結累計期間 ■期末



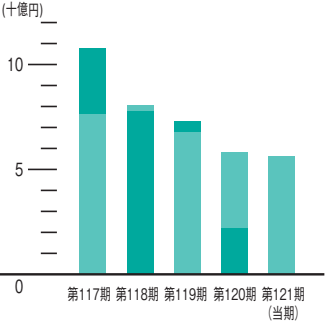
●営業利益  
■第2四半期連結累計期間 ■期末



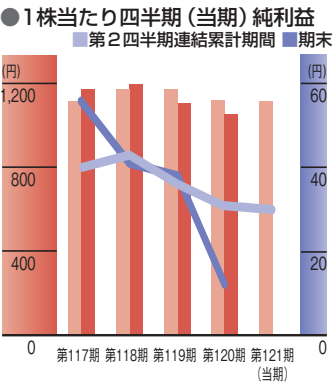
●経常利益  
■第2四半期連結累計期間 ■期末



●四半期（当期）純利益  
■第2四半期連結累計期間 ■期末

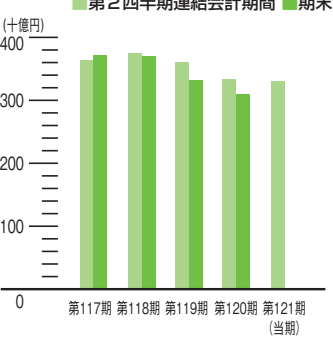


●1株当たり純資産  
■第2四半期連結会計期間 ■期末



●1株当たり四半期（当期）純利益  
■第2四半期連結累計期間 ■期末

●総資産  
■第2四半期連結会計期間 ■期末

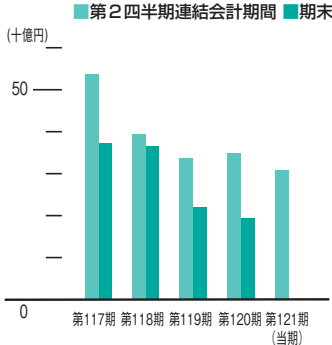


四半期連結キャッシュ・フロー計算書

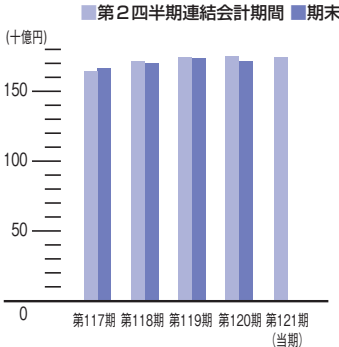
(単位：百万円)

| 科目               | 当第2四半期連結累計期間                  |
|------------------|-------------------------------|
|                  | 平成21年3月 1 日から<br>平成21年8月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 19,451                        |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,877                        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,907                        |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △13                           |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 11,653                        |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 19,292                        |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 30,945                        |

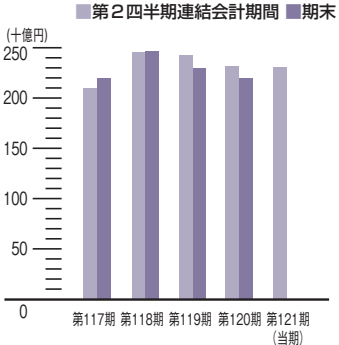
●現金及び現金同等物の残高



●利益剰余金残高



●純資産



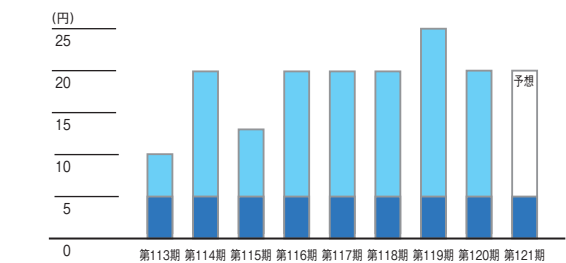
中間配当金について

中間配当金につきましては、既にご案内のとおり、1株5円と決定させていただきました。  
下半期も引続き一層の経営の充実を図り、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ益々のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
中間配当金のお支払いにつきましては、特にご指定のない方は同封の中間配当金領収証により、払渡期間（平成21年11月6日～平成21年12月7日）中に、ゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局にてお受け取りください。（同領収証を、お取引の貯金口座のあるゆうちょ銀行または預金口座のあるその他銀行窓口をお持ちいただくことにより、その口座へ入金することもできます。）  
また、銀行預金口座振込をご指定の方は同封の「中間配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」によりご確認ください。

通期の配当予想について

上半期の業績に通期業績予想を加味し、期末の配当金は、普通配当5円に加え、特別配当10円の計15円、中間配当金と合わせまして年間配当計20円を予想いたしております。

1株当たり配当金の推移



※平成14年4月(第114期中)に1:10の株式分割を実施いたしました。  
第113期以前の配当金は比較のため10分の1に換算して表示しております。

東宝グループ各社（連結子会社41社、持分法適用会社4社）

映画製作・配給

(株)東宝映画…………… 映画の企画・製作  
東宝東和(株)…………… 洋画の輸入・配給  
(株)東京現像所…………… フィルムの現像、CG・デジタル合成などの処理

映画興行

TOHOシネマズ(株)… TOHOシネマズ日劇・TOHOシネマズ六本木ヒルズ・TOHOシネマズ梅田などの映画館経営  
北海道東宝(株)…………… 札幌東宝公衆・恵庭東宝シネマ8などの映画館経営  
関西共栄興行(株)…………… 松江SATY東宝・米子駅前SATY東宝などの経営  
九州共栄興行(株)…………… 休眠中  
(株)公衆会館…………… ビルの賃貸

映像の製作・販売

(株)日本映画新社…………… 清算中  
東宝ミュージック(株)… 映画・ミュージカルなどの音楽製作、音楽原盤・著作権の管理  
(株)東宝映像美術…………… 映画・テレビ・CMなどの美術製作、テーマパーク・イベントの企画・デザイン・施工  
(株)東宝コスチューム…………… 映画・テレビ・イベント・テーマパークなどの衣裳の製作・レンタル  
東宝舞台(株)…………… 演劇・テレビなどの舞台美術・小道具・衣裳の製作  
東宝アド(株)…………… テレビ・新聞・雑誌など広告媒体の取扱代理業、映像・ポスターなど各種宣伝広告物の企画・デザイン・制作  
(株)東宝ステラ…………… 東宝作品のビデオ・パンフレット・キャラクター商品などの流通・販売、映画原版・プリントの管理

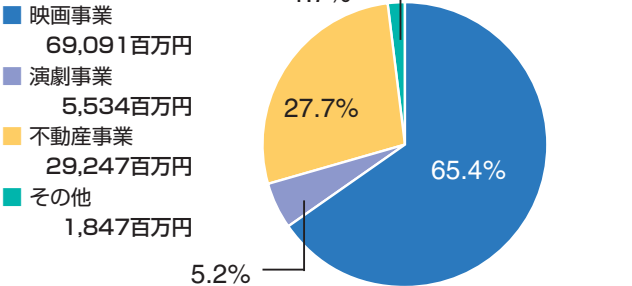
演劇事業

東宝芸能(株)…………… 映画・演劇・テレビなどへの俳優の斡旋、演劇の企画・製作、イベントの企画・製作  
(株)東宝エージェンシー… 演劇公演の団体入場券の斡旋・販売  
(株)コマ・スタジアム… 演劇の制作、ビルの賃貸

不動産の賃貸等

国際放映(株)…………… スタジオのレンタル、テレビ番組の企画・制作  
三和興行(株)…………… 新宿文化ビルなどの賃貸  
東宝不動産(株)…………… 東宝ツインタワービル・帝劇ビルなど不動産の賃貸、劇場内売店の経営、飲食店の経営、保険代理業、介護事業  
萬活土地起業(株)…………… 長崎・熊本・鹿児島におけるビルの賃貸

●当第2四半期連結累計期間事業部門別営業収入比率



道路事業

スバル興業(株)他13社… 道路の維持清掃及び補修工事、飲食店の経営、有楽町スバル座の経営

不動産の保守・管理

(株)東宝サービスセンター… ビルの管理・清掃・警備（東京・仙台・北海道など）  
東宝ビル管理(株)…………… ビルの管理・清掃・警備（近畿・中部・九州など）

飲食・娯楽事業

東宝共栄企業(株)…………… 日曜大工センター（成城・調布）、調布ゴルフコース、調布テニスクラブの経営  
(株)東宝エンタープライズ… 東宝ダンスホールの経営  
東宝フーズ(株)…………… ベーカリーショップの経営、劇場コンセッション用及び一般食材等の販売

持分法適用会社

オーエス(株)…………… OSシネマズミント神戸など15スクリーンの映画館経営、OSビルなど不動産の賃貸、梅田OSホテルの経営  
(株)東京楽天地…………… 錦糸町楽天地ビルの賃貸、TOHOシネマズ錦糸町など映画館の経営、ボウリング場・サウナなどの経営  
成旺印刷(株)…………… パンフレット・ポスター・チラシなど、各種印刷物の製作  
(株)アイアクセス…………… 道路の維持補修

# Investor Information

株式情報（平成21年8月31日現在）

## 株式の状況

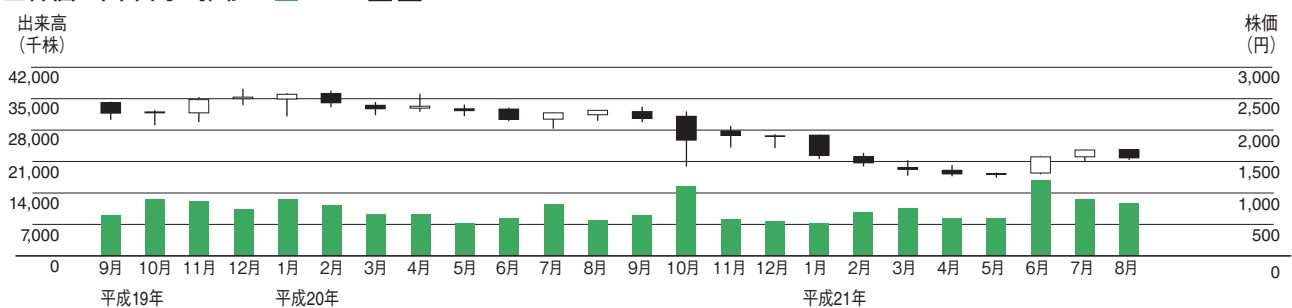
|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 400,000,000株                      |
| 発行済株式の総数 | 188,990,633株<br>(自己株式473,826株を含む) |
| 株主数      | 28,089名<br>(前期末比 1,879名増加)        |

## 大株主（上位10名）

| 株主名                             | 当社への出資状況    |             |
|---------------------------------|-------------|-------------|
|                                 | 持株数<br>(千株) | 出資比率<br>(%) |
| 阪急阪神ホールディングス株式会社                | 22,807      | 12.09       |
| 阪急不動産株式会社                       | 15,150      | 8.03        |
| エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社             | 13,664      | 7.24        |
| 日本トラスティ・サービス<br>信託銀行株式会社（信託口4G） | 7,133       | 3.78        |
| 日本マスタートラスト<br>信託銀行株式会社（信託口）     | 6,413       | 3.40        |
| 日本トラスティ・サービス<br>信託銀行株式会社（信託口）   | 6,072       | 3.22        |
| 株式会社フジ・メディア・ホールディングス            | 4,940       | 2.62        |
| 株式会社TBSテレビ                      | 4,521       | 2.39        |
| 株式会社電通                          | 3,779       | 2.00        |
| 株式会社丸井グループ                      | 3,223       | 1.70        |

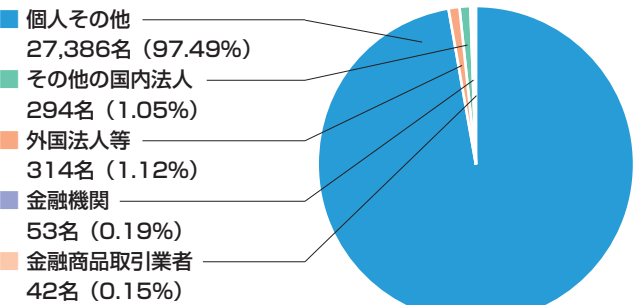
（注）出資比率は、自己株式473,826株を控除して計算しております。

## 株価・出来高の推移

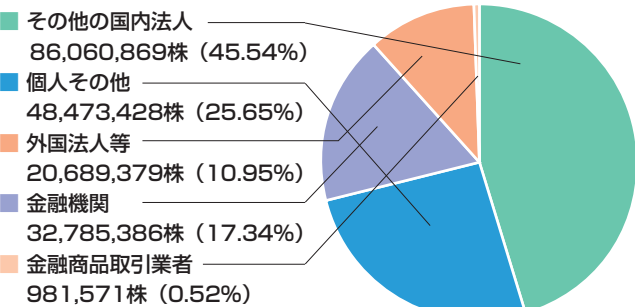


## 所有者区別株式分布状況

### 株主数



### 株式数



# Corporate Data

## 会社概要

## 会社概要（平成21年8月31日現在）

|         |                                                                                         |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 会社名     | 東宝株式会社                                                                                  |
| 設立      | 昭和7年8月12日                                                                               |
| 資本金     | 10,355,847,788円                                                                         |
| 従業員数    | 370名<br>但し、嘱託13名、出向受入者24名を含み、<br>出向者116名を含みません。                                         |
| 本社      | 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号                                                                       |
| 支社      | 関西（大阪）                                                                                  |
| スタジオ    | 東京 世田谷（成城）                                                                              |
| 演劇直営劇場  | 本社直轄2劇場（帝国劇場、シアタークリエ）                                                                   |
| その他の営業所 | 有楽町センタービル（通称有楽町マリオン）<br>東宝日比谷ビル（通称日比谷シャンテ）<br>東京宝塚ビル<br>東宝シアタークリエビル<br>HEPナビオ<br>東宝南街ビル |
| 主な事業内容  | 映画の製作、売買及び賃貸借、<br>テレビ放送番組等の制作及び販売、<br>映画のパンフレット及びビデオソフトの製<br>作並びに販売、商品化権に関する事業、<br>その他  |
| 演劇      | 演劇の企画、製作及び興行                                                                            |
| 不動産経営   | 土地・建物の賃貸借、その他                                                                           |

## 役員（平成21年10月1日現在）

|                |       |                                     |
|----------------|-------|-------------------------------------|
| 代表取締役<br>取締役社長 | 高井 英幸 | 映像本部長兼映像本部国際、<br>経営企画各担当<br>内部監査室直轄 |
| 専務取締役          | 千田 諭  | 映像本部映画営業、同宣伝各担当                     |
| 専務取締役          | 中川 敬  | 不動産経営、スタジオ各担当                       |
| 専務取締役          | 増田 憲義 | 演劇担当                                |
| 専務取締役          | 高橋 昌治 | 人事労政、総務各担当<br>兼経営企画担当補佐             |
| 専務取締役          | 島谷 能成 | 映像本部映画調整、同映像制作各担当                   |
| 常務取締役          | 浦井 敏之 | 経理・財務、情報システム各担当<br>兼特定取締役           |
| 取締役            | 角 和夫  | 阪急阪神ホールディングス株式会社<br>代表取締役社長         |
| 取締役            | 大隈 廣  | 株式会社コマ・スタジアム<br>代表取締役社長             |
| 取締役            | 村上 主税 | TOHOシネマズ株式会社<br>代表取締役社長             |
| 取締役            | 石塚 泰  | 人事労政部長                              |
| 取締役            | 太古 伸幸 | 経営企画部長                              |
| 取締役            | 新坂 純一 | 映像本部映像事業担当兼映像事業部長                   |
| 取締役            | 山下 誠  | 不動産経営部長                             |

|       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 常勤監査役 | 赤井 紀雄 | 監査役会議長兼特定監査役 |
| 常勤監査役 | 三屋 秀明 |              |
| 監査役   | 大西昭一郎 | 弁護士          |
| 監査役   | 大橋 太郎 | 阪急電鉄株式会社相談役  |

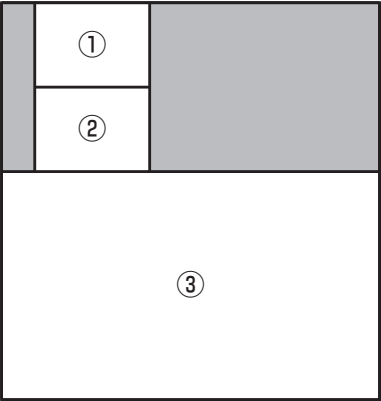
■株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日  
定時株主総会 5月中  
配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日  
中間配当金 8月31日  
基準日 定時株主総会 2月末日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して  
臨時に基準日を定める。  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711（通話料無料）  
※特別口座に関する変更届等用紙のご請求は  
電話 0120-244-479（通話料無料）  
インターネットホームページ  
http://www.tr.mufig.jp/daikou/  
http://www.toho.co.jp/toho\_ir/  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電  
子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載す  
る方法によって公告いたします。

公告掲載URL

●表紙のご紹介

映像事業部門の展開する商品の数々



- ①黒澤明監督作品  
AKIRA KUROSAWA  
THE MASTERWORKS Blu-ray Disc Collection
- ②東宝特撮Blu-rayセレクション
- ③2010 東宝カレンダー（表紙 長澤まさみ）・  
劇場用パンフレット・キャラクター商品など

■株主優待

株主カード及び株主映画ご招待券交付基準

| ご所有株数           | 株主カード貸与枚数 |          | 株主映画ご招待券発行<br>シート数（半年につき）（※） |
|-----------------|-----------|----------|------------------------------|
|                 | ご本人カード    | ファミリーカード |                              |
| 1,000株～1,999株   | 1枚        | 0枚       | 1シート                         |
| 2,000株～2,999株   |           |          | 2シート                         |
| 3,000株～4,999株   |           |          | 3シート                         |
| 5,000株～9,999株   |           | 1枚       | 6シート                         |
| 10,000株～19,999株 |           | 2枚       | 10シート                        |
| 20,000株～29,999株 |           | 3枚       | 15シート                        |
| 30,000株～49,999株 |           |          | 20シート                        |
| 50,000株～99,999株 |           |          | 25シート                        |
| 100,000株以上      |           |          | 30シート                        |

- ・株主映画ご招待は、株主カードと株主映画ご招待券を映画館チケット売場等  
でご提示いただき、双方に記載された優待番号が一致したとき、ご利用いた  
だけます。
- ・株主カードの発行は、原則として初回のみ、5月下旬または11月中旬となり  
ます。
- ※株主映画ご招待券1シートは、指定2ヶ月間通用券×6枚となります。  
2月末日現在の株主に5月下旬に発行：6・7月、8・9月、10・11月通用各2枚。  
8月末日現在の株主に11月中旬に発行：12・1月、2・3月、4・5月通用各2枚。

株主映画優待券交付基準（800円で映画をご覧ください。）

|           |       |           |       |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 100株～499株 | 半年 2枚 | 500株～999株 | 半年 8枚 |
|-----------|-------|-----------|-------|

2月末日現在の株主に6月から11月まで半年間通用の券を5月下旬に発行。  
8月末日現在の株主に12月から翌年5月まで半年間通用の券を11月中旬に発行。

株主優待制度についての詳細は、当社ホームページ「会社情報」「株主優待」を  
ご覧ください。

〒100-8415  
東京都千代田区有楽町一丁目2番2号  
東宝株式会社  
総務部 電話 (03) 3591-1214  
http://www.toho.co.jp